

Ahamed Farid (アハメド ファリード) さん

パキスタン・イスラム共和国 鹿屋市 自動車販売業

日本で初めて見たこと

みなさんこんにちは。

私はファリードと言います。パキスタンから仕事で来ました。今、家族と鹿屋に住んでいます。

私が日本で暮らすようになって経験したり感じたりした色々なことについて話します。

まず一番驚いたことは、みんながとても礼儀正しいことです。

日本人がすぐ口にする言葉に「すみません」と「ごめんなさい」があります。

英語で“Excuse me “と” I’ m sorry” を意味する言葉です。日本人はこの2つの言葉を同じような意味で入れ替えたりしながらよく口にします。

また、日本人らしいなと思う言葉は「お先に失礼します」です。職場から、上司や同僚よりも先に帰るときに必ず言う言葉です。

上司で思い出しましたが、日本人は上司が職場から帰らないと帰ろうとしません。自分の仕事が終わっていてもです。これは、私には時間を無駄にしているように思えます。

日本人の真面目さにも驚かされます。たとえば、あなたが約束の時間に約束の場所へ着いたとしても、実はもう遅いのです。どうしてかという、あなたの同僚は少なくとも30分前にはそこに到着しているからです。

どこかへ行ったらお土産を必ず買ってくるのもそのひとつです。もし、あなたがどこかへ行ってお土産を買わなかったら恥ずかしい思いをさせていただきますよ。仲の良いお友達からさえ「お土産は？」と聞かれてしまいます。

日本人の真面目さは子供にも見られます。小学1年生でさえ、毎日徒歩で登下校しています。私からすればこれは少し危ない気がしますし、私の子供には大変なことです。

私の息子は今2年生ですが、1年生のころは毎朝学校まで送って行きました。そして、そのとき徒歩で登下校することが新しい友達を作ったり、心や体を鍛える大切な時間であることを知りました。経験してみないとわからないこともあるものです。

日本人の、変わっているなと思うところもあります。

たとえばクリスマスのお祝いです。クリスマスの時期になるとあちこちでクリスマスの宣伝やイベントを目にします。でも「どうしてお祝いをするの？」と聞いても「わからない」とたいていの人は答えます。わからないのに祝うのは変だなと思います。

あと、なんでもすぐジャンケンで決めることも面白いですね。「誰からする？」も「誰がもらう？」もジャンケンポンですぐ決まってしまう。話し合いをしなくてもジャンケンの結果にみんな納得します。

考え方や習慣の違いに戸惑うことがまだたくさんありますが、少しずつ慣れて鹿屋での

生活を楽しみたいです。

良い時間を過ごすためにもっと周りの人とお互いのことを分かり合えるようになりたいです。

終わります。